

## リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果 (令和6年2月実施)

### 1. 回答の状況

振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	117	42	35.9
県中	139	46	33.1
県南	81	39	48.1
会津	59	23	39.0
南会津	13	4	30.8
相双	59	30	50.8
いわき	257	53	20.6
計	725	237	32.7

### 2. 回答の内容

Q1. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。(複数回答可)

	実施済み	割合(%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	67	28.3%
2 社内勉強会、研修会の開催	68	28.7%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	18	7.6%
4 工場見学会の実施	61	25.7%
5 地域と連携した防災訓練の実施	15	6.3%
6 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	113	47.7%
7 地域の方々への個別訪問	13	5.5%
8 広報誌等の作成、配布	15	6.3%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明(会の設営、主催は地域の方々)	17	7.2%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	26	11.0%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	19	8.0%
12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可)	89	37.6%
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	133	56.1%
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	79	33.3%
15 その他	9	3.8%

**Q2. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。**

- ・ 紛争鉱物由来物質の不使用、ISO-14001認証
- ・ 環境安全衛生委員会にて、化学物質リスクに関するアジェンダを提示して協議する
- ・ 地域の花火大会への協賛
- ・ 事業所周辺（公共）の清掃活動
- ・ 矢吹町花いっぱい運動
- ・ 地域のお祭りへの寄付
- ・ 町内活動への寄付
- ・ コロナが発生してから集会や行事を行っていない、今年度も地域では自粛の方向で進んでいます
- ・ ISO14001運用

**Q3. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）**

	予定している	割合 (%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	22	9.3%
2 社内勉強会、研修会の開催	45	19.0%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	9	3.8%
4 工場見学会の実施	33	13.9%
5 地域と連携した防災訓練の実施	6	2.5%
6 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	57	24.1%
7 地域の方々への個別訪問	5	2.1%
8 広報誌等の作成、配布	8	3.4%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明(会の設営、主催は地域の方々)	10	4.2%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	12	5.1%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	12	5.1%
12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可)	47	19.8%
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	64	27.0%
14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示	32	13.5%
15 その他	7	3.0%

**Q4. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。**

- ・ Q1で回答した項目及び現在実施している取組み以外に今後予定しているものは現時点ではありません
- ・ 地域の花火大会への協賛
- ・ 矢吹町花いっぱい運動
- ・ Q1実施項目の継続を予定
- ・ なし
- ・ Q1の内容を継続して実施していく
- ・ ISO14001の継続運用

**Q 5. リスクコミュニケーション等への取組みを実施する理由は何ですか。（複数回答可）**

回答事業者数	195
--------	-----

		選択事業者数	割合 (%)
1	企業としての社会的責任のため	167	85.6%
2	企業イメージを向上させるため	58	29.7%
3	住民等から要請があったため	8	4.1%
4	住民等と良好な関係を築くため	71	36.4%
5	過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	5	2.6%
6	環境保全、リスク管理等の社員教育のため	85	43.6%
7	行政から指示があったため	19	9.7%
8	本社、関連会社等の方針	73	37.4%
9	その他	2	1.0%

**Q 6. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください**

- ・ ISO14001に基づく対応
- ・ 法令上のための測定

**Q 7. リスクコミュニケーション等への取組みを実施しない理由は何ですか。（複数回答可）**

回答事業者数	42
--------	----

		選択事業者数	割合 (%)
1	コストがかかるため	12	28.6%
2	人手がないため	26	61.9%
3	地域とのつながりがないため	11	26.2%
4	リスクコミュニケーションを実施する知識、スキルがないため	21	50.0%
5	必要性が感じられないため	7	16.7%
6	その他	4	9.5%

**Q 8. 前問で「その他」を選択した方は内容をご記入ください。**

- ・ 化学物質の使用量が少なく用途も限定的であるため
- ・ これまで、住民からの要望もなく、毎年ダイオキシン類対策特別措置法に基づく自主測定を実施しており、測定結果から安全性が保たれていることを確認しているため
- ・ 工業団地内にあり、地域住民との接点がない
- ・ 使用している化学物質の量が少ない

**Q9. リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。（複数回答可）**

回答事業者数	222
--------	-----

		選択事業者数	割合(%)
1	リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	159	71.6%
2	リスコミ実施事例の紹介	149	67.1%
3	リスコミについての講習会、講演会	83	37.4%
4	専門家（アドバイザー）の派遣	22	9.9%
5	行政の助言、仲介	36	16.2%
6	行政による場の提供	38	17.1%
7	その他	1	0.5%

**Q10. リスクコミュニケーション等で、興味があることがあればご記入ください。**

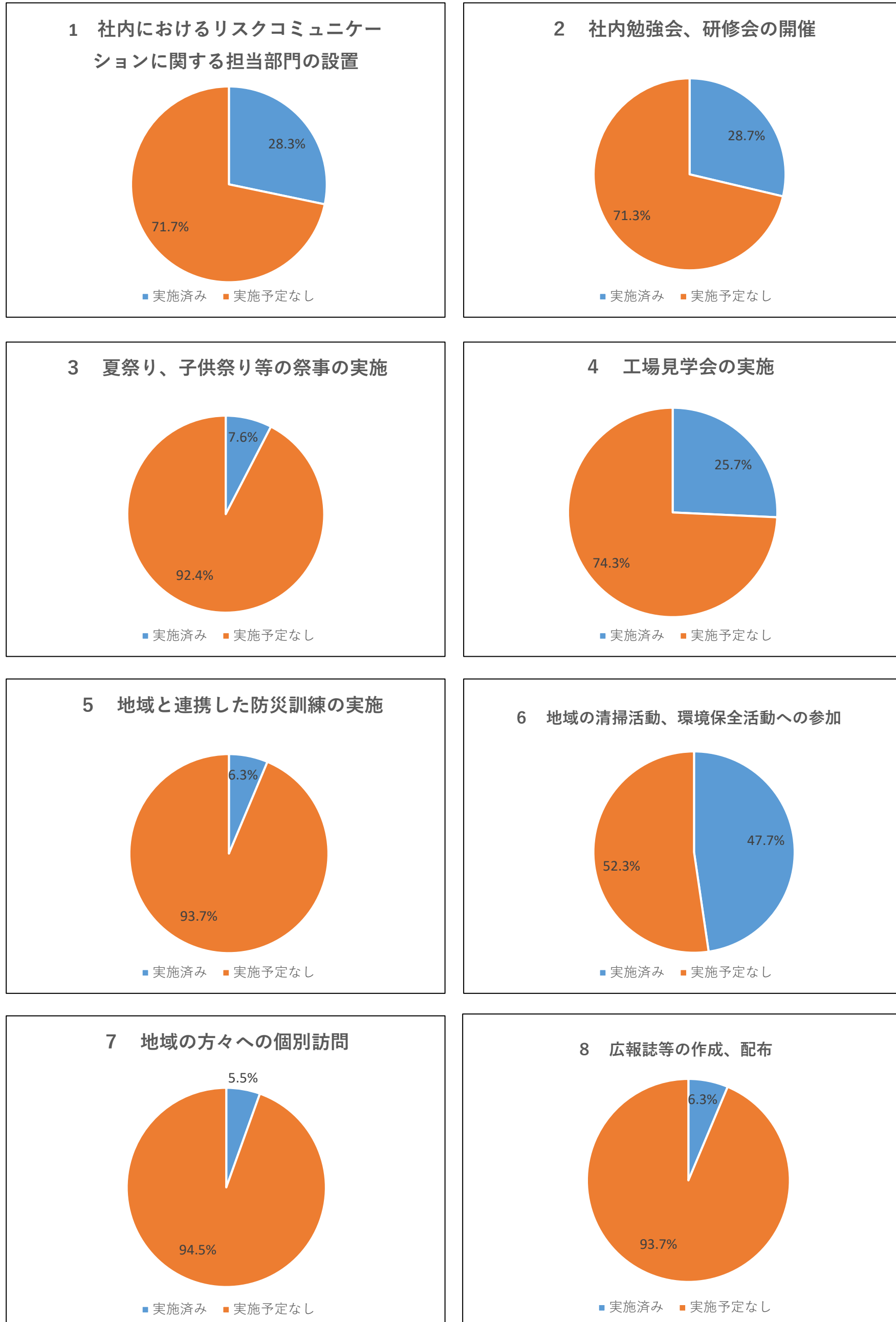
- ・ 同業他社の具体例
- ・ 特にありません
- ・ PRTRなどの排出量を地域住民の方が見て、どの様に感じるのか？VOC燃焼設備などを設け法的には順守しているが地域住民は納得できるのか？現段階では原材料の代替と言われても難しい
- ・ ガイドラインやマニュアルがあれば参考にしたい。
- ・ 同業他社の取り組み状況
- ・ 化学物質による健康障害や生態系への影響
- ・ 「オンライン会議開催可能な環境が整備されている」は社内規則により使用アプリが制限される場合あり
- ・ ISO14001認証はリスクコミュニケーションになりますか
- ・ 地域との融和の促進できること
- ・ リスクコミュニケーションを身近に感じ実施する為のアプリ等の提供があると助かります
- ・ 取り組み事例

**Q11. 外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか。**

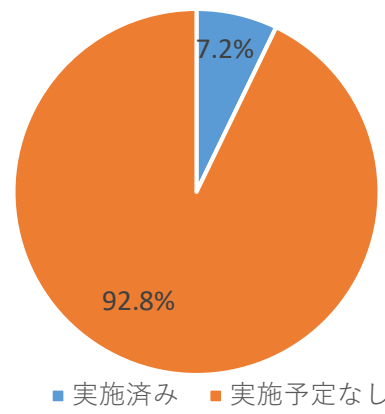
		選択事業者数	割合(%)
1	整備されている	204	86.1%
2	今後整備の予定である	8	3.4%
3	整備の予定はない	22	9.3%
4	無回答	3	1.3%

## 集 計 結 果 ( グ ラ フ )

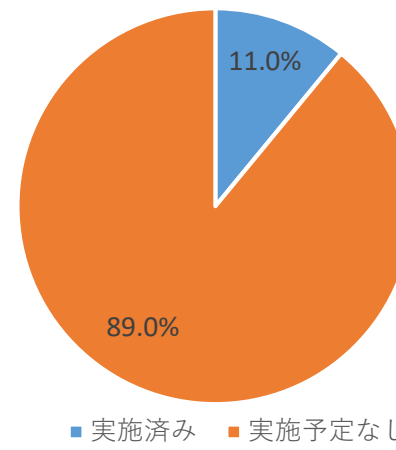
**Q 1 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。(複数回答可)**



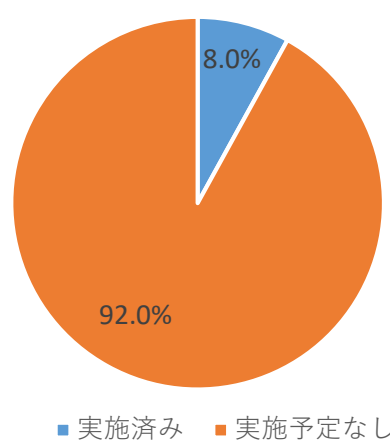
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明  
(会の設営、主催は地域の方々)



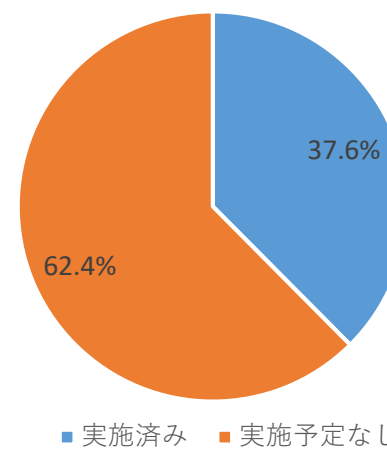
10 地域の方々との懇談会、懇親会等  
(会の設営、主催は地域の方々)



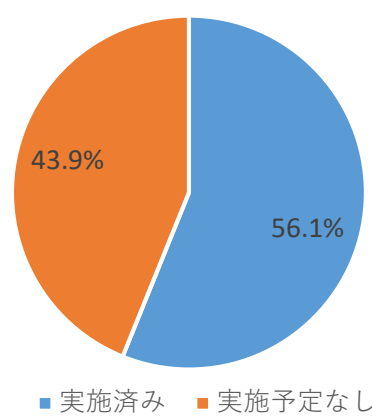
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等



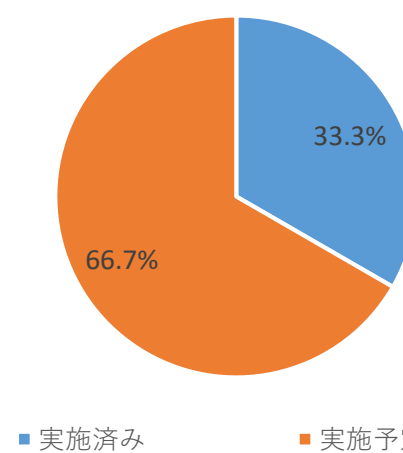
12 環境報告書の作成 (本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可)



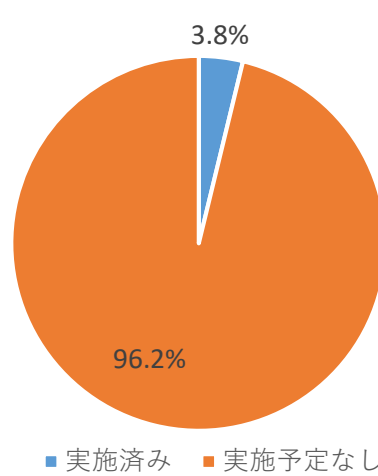
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定



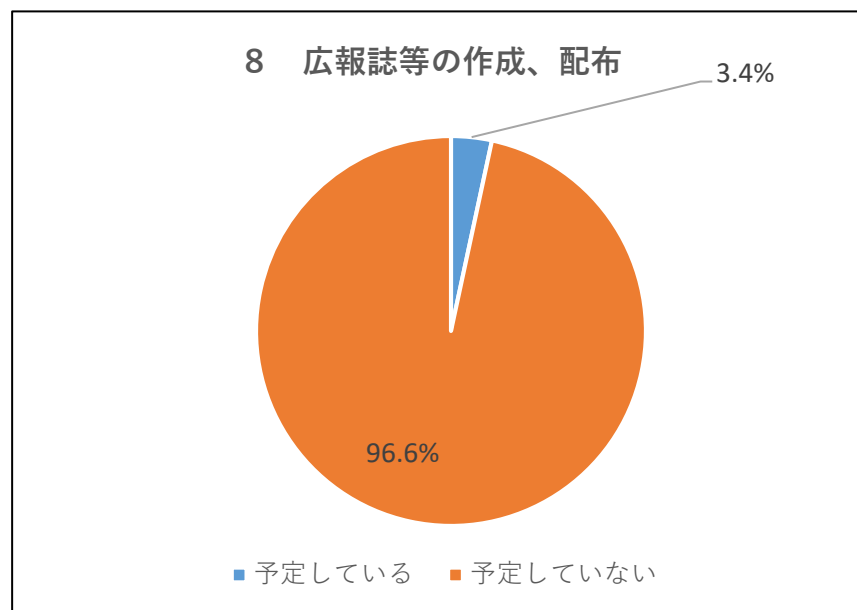
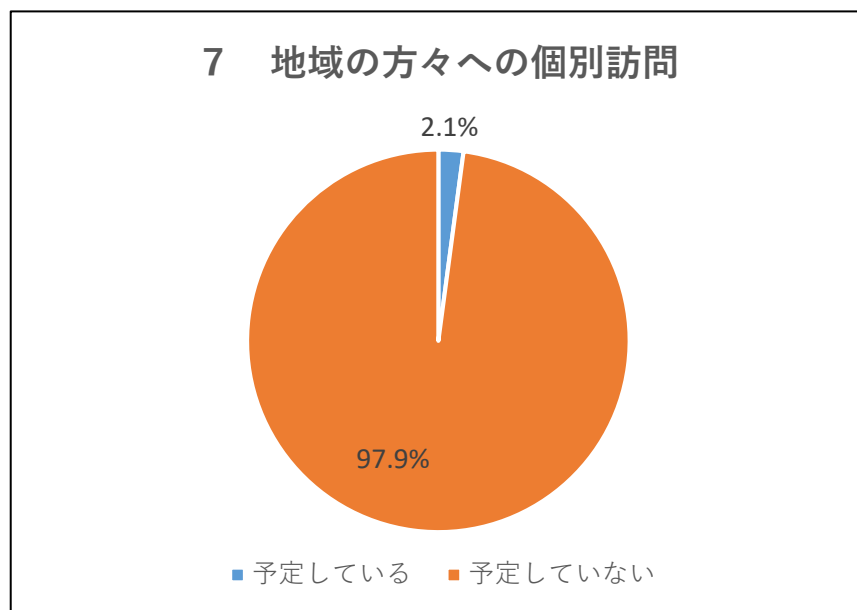
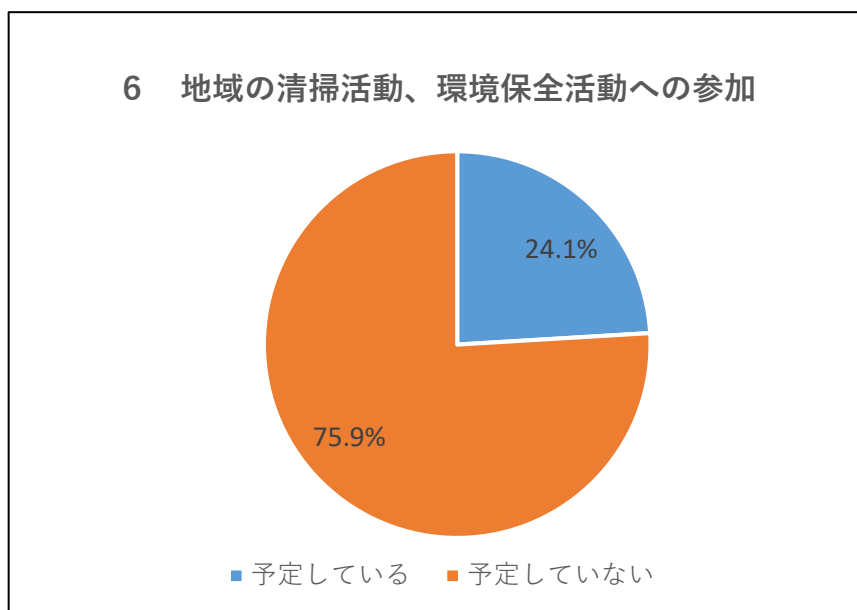
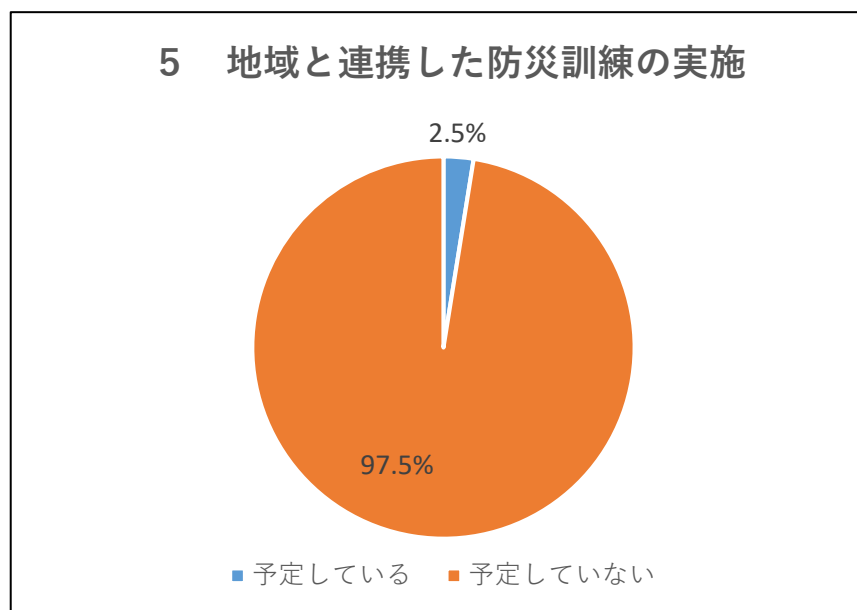
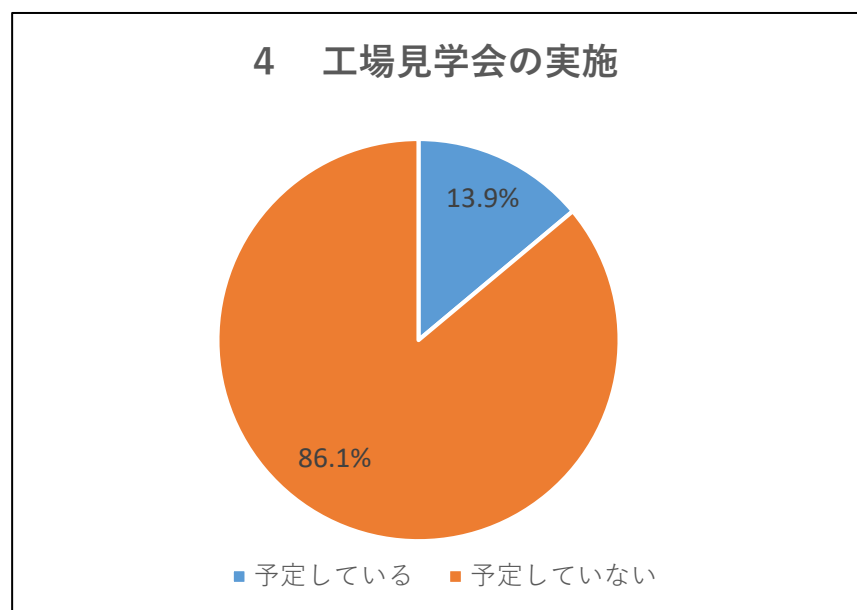
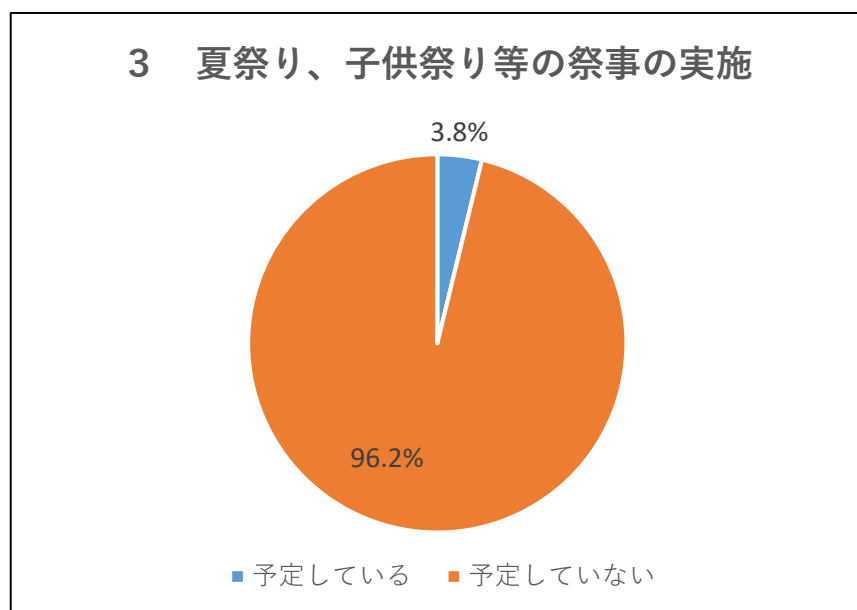
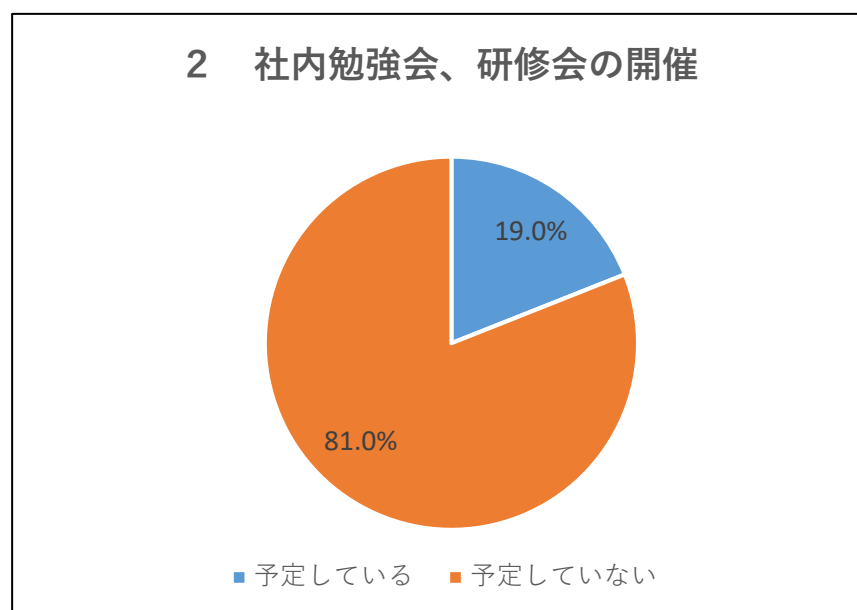
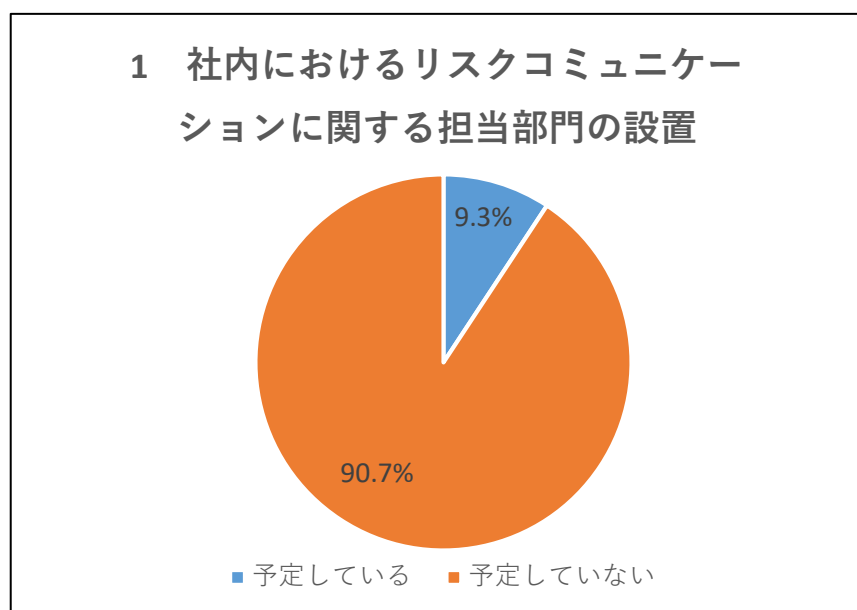
14 化学物質情報 (種類、排出量等) の開示



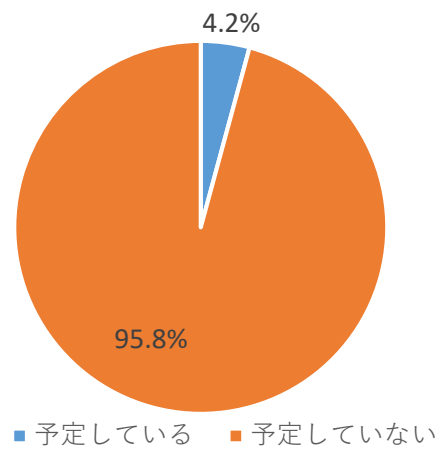
15 その他



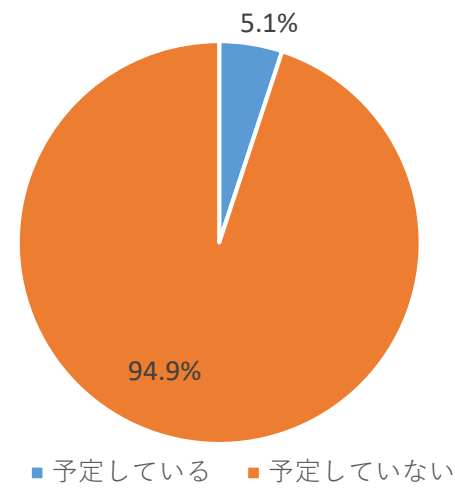
**Q3. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）**



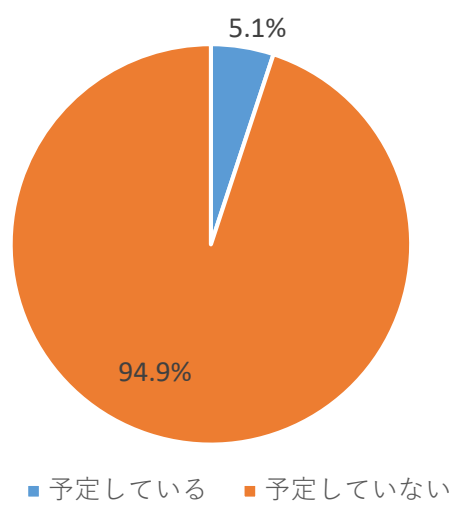
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明  
(会の設営、主催は地域の方々)



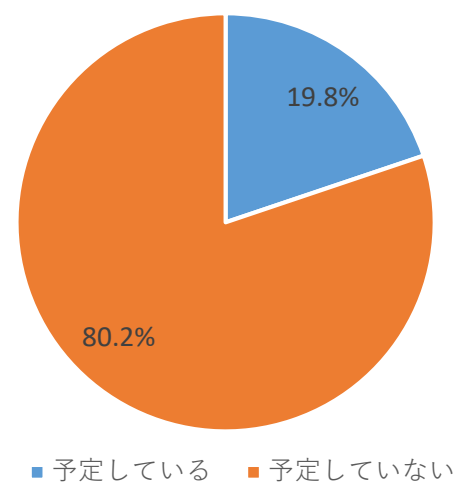
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)



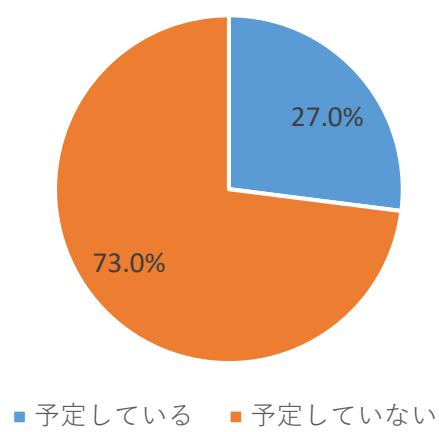
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等



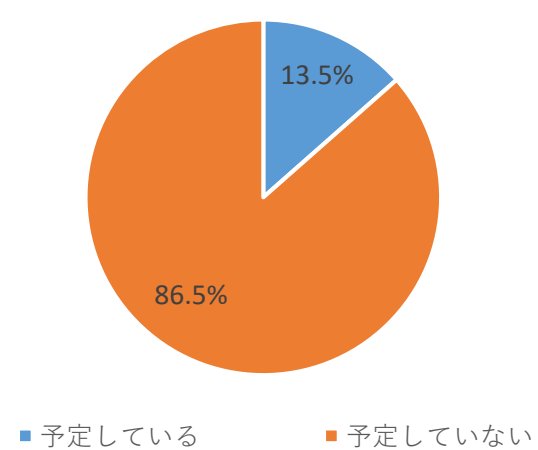
12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可)



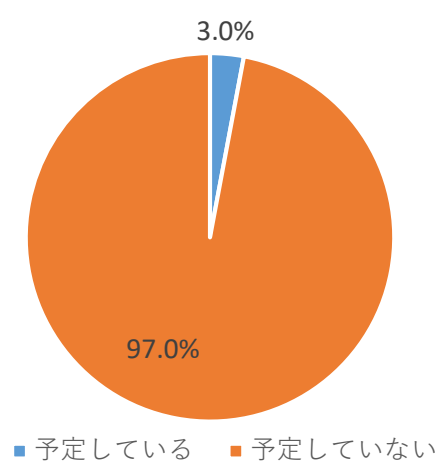
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定



14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示

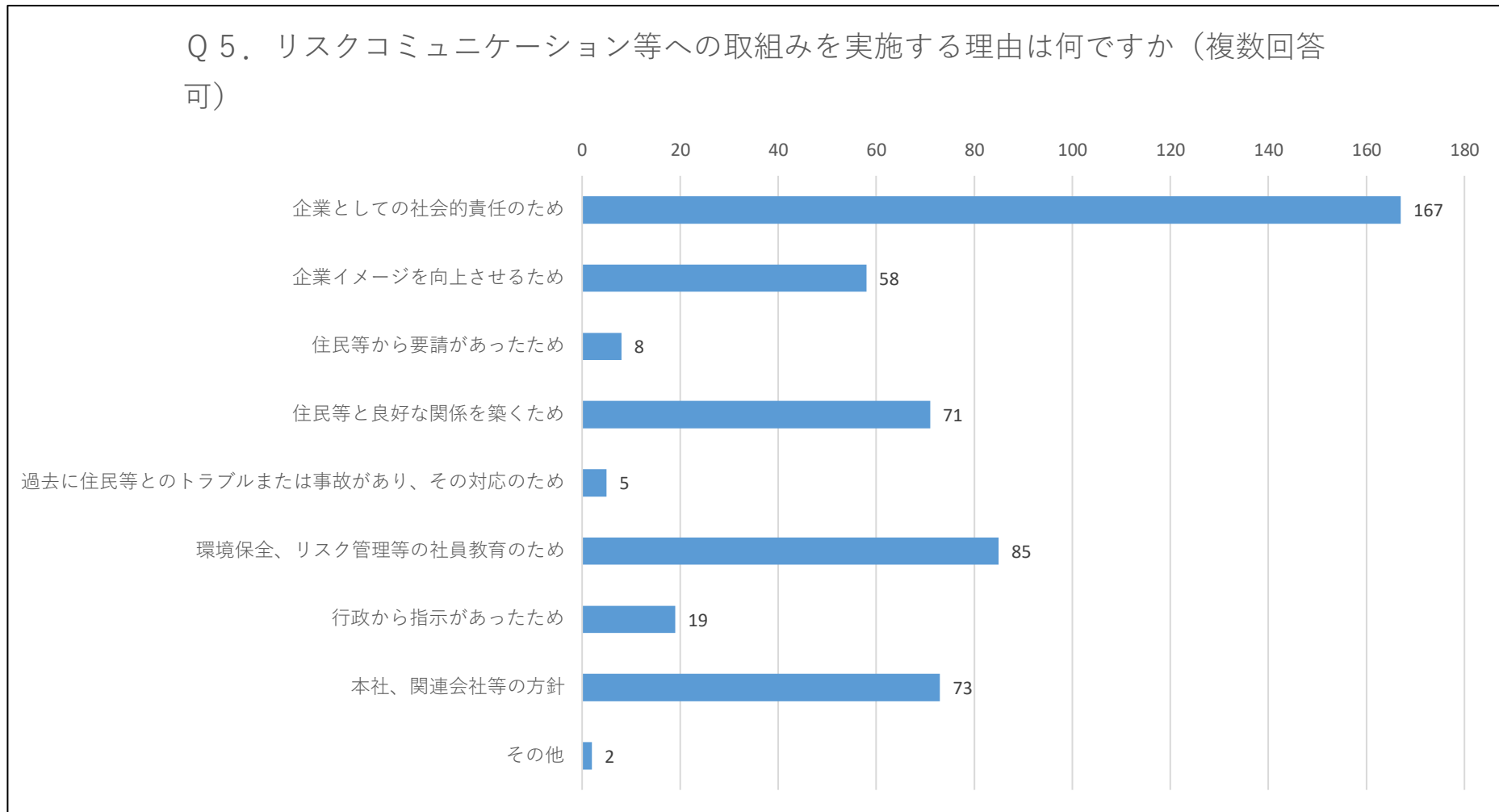


15 その他

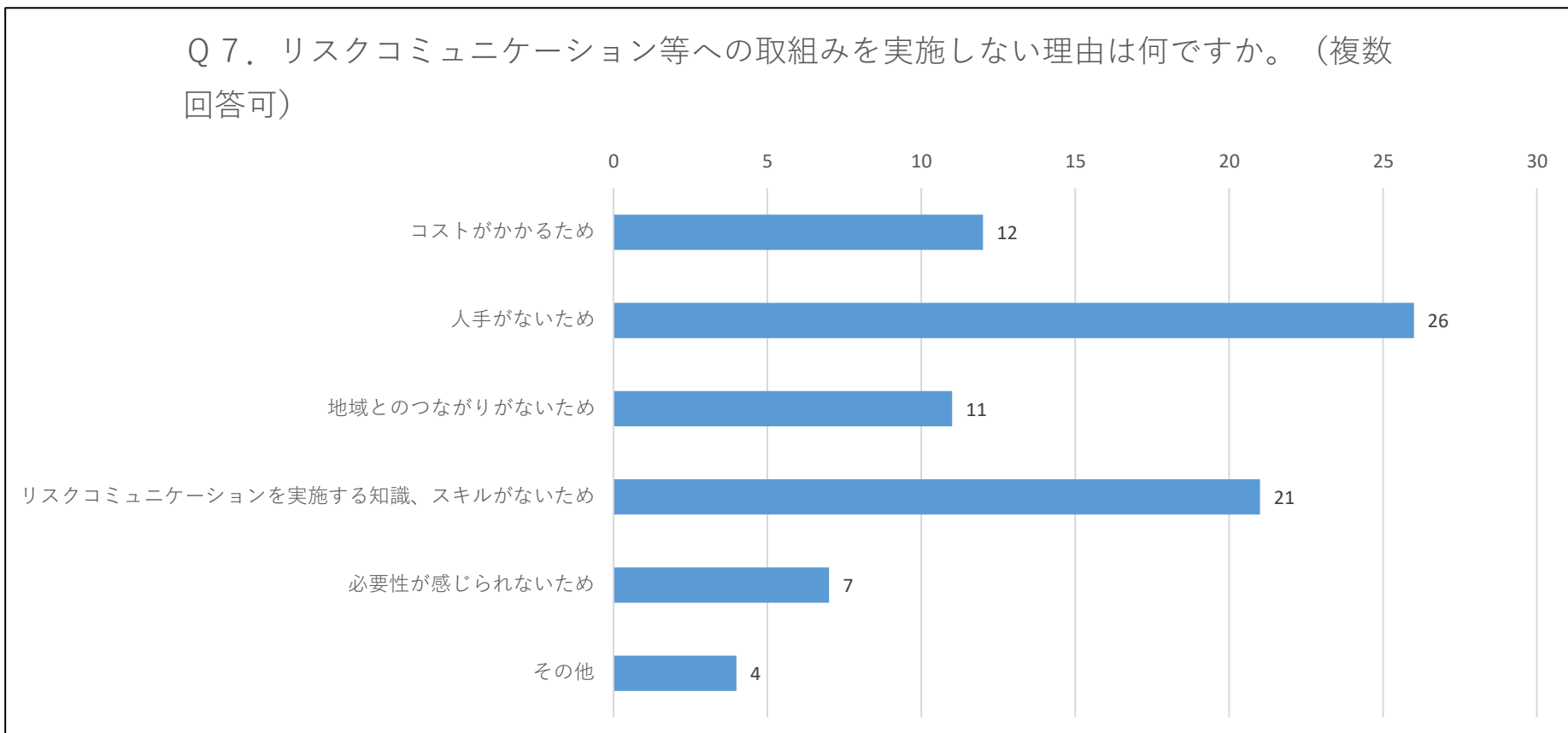




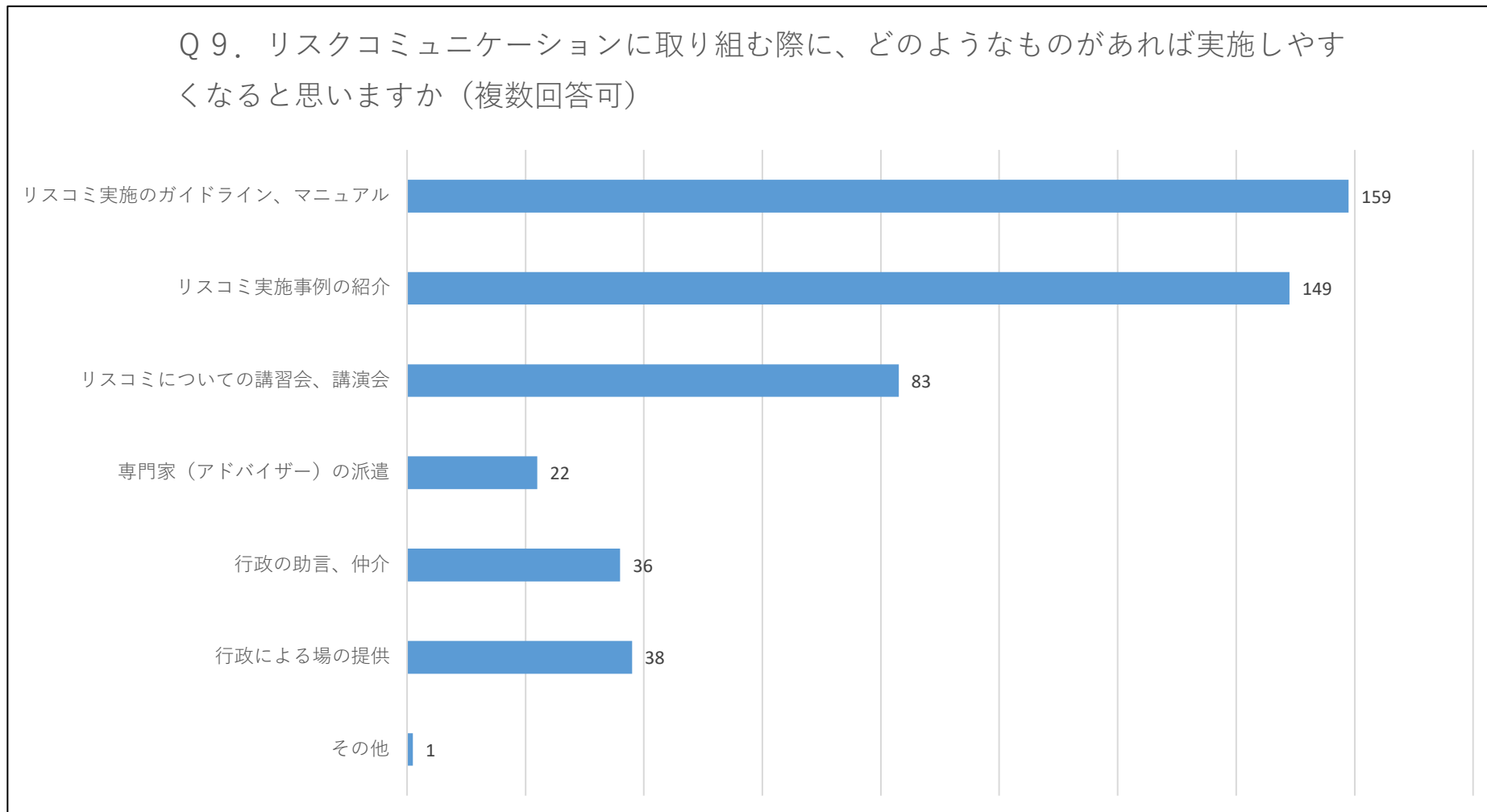
**Q 5. リスクコミュニケーション等への取組みを実施する理由は何ですか。（複数回答可）**



**Q 7. リスクコミュニケーション等への取組みを実施しない理由は何ですか。（複数回答可）**



**Q 9. リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。（複数回答可）**



**Q 11. 外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか。**

